



鹿角高校進路通信

第1号 秋田県立鹿角高等学校進路指導部 令和6年4月30日発行

鹿角高校の進路活動について－令和6年度の始まりにあたって－

花輪・十和田・小坂の3校の統合によって新たに鹿角高校が開校し、令和6年度が始まってから1カ月が経ちました。今年度は1年生だけでなく、2・3年生も新しい学校でのスタートとなりましたが、1年生の皆さんは高校生活に、2年生の皆さんは新しいクラスに、3年生の皆さんは最上級生としての立場に、それぞれ慣れてきたでしょうか。1年生の皆さんは入学したばかりですが、1年生のうちに2年生からのコースや科目を選択しなければなりませんので、様々な活動を通して自分の将来を深く考える年にしてもらいたいと思います。もちろん自分の将来について深く考えることは2・3年生の皆さんにとっても大事なことで、2年生は将来の進路目標を具体的に定める年、3年生は定めた進路目標を実現させる年です。「今」の生活の一つ一つが「将来」の自分につながっていきます。皆さんが1年後に振り返ったとき、「この1年で自分は大きく成長したな」と実感できるような1年になることを期待しています。

さて、下の図は鹿角高校のキャリア教育について図示したものです。生徒の皆さんには自分の目標を実現させるために「自ら考え、判断し、行動する生徒」「挑戦し続ける生徒」「互いの多様性を認め共生する生徒」であってほしい、そして、鹿角高校での3年間を通して一人一人が「自己の在り方生き方についての考え」を深めてほしいという願いのもと、鹿角高校では様々な学習活動や進路関係の行事等を計画・実施していきます。そうした全ての活動の基盤となるのが授業における「主体的・対話的で深い学び」や、社会の中で行動していく上で必要不可欠な資質・能力である「自己理解」や「協働する姿勢」及び「言語能力・情報活用能力」です。これらを基盤として、各学年の活動が進められていきますが、特に進路活動の中心となるのが、主に「総合的な探究の時間」で取り組む「探究活動」です。

鹿角高校では進路活動の中心となる「探究活動」について、探究方法を習得し、社会について学ぶ1年生の活動を「Planting Time」、探究課題を設定し、調査・分析を行う2年生の活動を「Growing Time」、それまでの探究成果をまとめ、よりよい社会のために提言する3年生の活動を「Blooming Time」と名付けています。これは一人一人が目標を達成する（＝花を咲かせる）までの過程を、「種を蒔いて(Planting)、育てて(Growing)、咲かせる(Blooming)」という花を咲かせるまでの過程と重ねた名称です。



鹿角高校のキャリア教育

自ら考え、判断し、行動する生徒 挑戦し続ける生徒 互いの多様性を認め共生する生徒

進路目標の実現

3年生：挑戦する気概をもち進路実現を目指す
探究活動(BloomingTime)－探究成果をまとめ、提言する－

進路目標の決定

2年生：将来設計を具体化する
探究活動(GrowingTime)－探究課題を設定し、調査・分析を行う－

適切なコース選択

1年生：自己理解を深め志を高める
探究活動(PlantingTime)－探究方法を習得し、社会について学ぶ－

3年間を通して…
自己の在り方生き方についての考えを深化させる

「自己理解の促進と協働する姿勢」の育成 (HR活動・校内外での体験活動・チャレンジングリスト) 「言語能力・情報活用能力」の向上 (ICT活用・進路別講座・外部試験)

「主体的・対話的で深い学び」の実現

令和6年度 鹿角高校 年間進路指導計画 (※予定は変更になることもあります)

月	主な学校行事	1年生	2年生	3年生
4月	前期始業式 入学式 読書週間 生徒総会 PTA・部活動後援会・教育振興会総会	オリエンテーション 進路希望調査(1) ステージアプリー到達度テスト ベネットステージレポート 河合塾学びみらいPASS	進路希望調査(1) ステージアプリー到達度テスト 進路ガイダンス インターシップ希望調査	進路希望調査(1) ステージアプリー到達度テスト(花輪出身者) ベネット基礎力診断テスト(十和田・小坂出身者) 各種模試(進路別)
5月	運動会 避難訓練	ステージアプリー到達度テスト振り返り会 コース・科目選択説明会	ステージアプリー到達度テスト振り返り会	各種模試(進路別)
6月	前期中間考査 学校祭	コース・科目選択調査(第1回) 放課後学習会 進研模試/基礎力診断テスト	放課後学習会 進研模試(進学)	放課後学習会 各種模試(進路別) 探究発表会(人文探究・理数探究コース) 平常課外開始
7月	芸術鑑賞教室 読書週間 夏季休業 夏季課外 中学生体験入学	社会人講話 夏季課外 保護者面談(三者面談)	インターシップ事前・事後学習 インターシップ 夏季課外 保護者面談(三者面談)	各種模試(進路別) 地元就職情報交換会 夏季課外 三者面談 企業訪問・オープンキャンパス等
8月	夏季休業 夏季課外 授業再開	保護者面談(三者面談) 課題テスト 進路希望調査(2) 全統模試(進学)	保護者面談(三者面談) 課題テスト 進路希望調査(2) 全統模試(進学)	夏季課外 三者面談 企業訪問・オープンキャンパス等 進路希望調査(2) 全統模試(進学)
9月	生徒会役員選挙 前期末考査 前期終業式 開校式典	放課後学習会 チャレンジングリスト コース・科目選択調査(第2回)	放課後学習会 チャレンジングリスト	大学等総合型選抜出願開始 就職応募・公務員試験開始 就職面接練習会 進研模試(進学) 放課後学習会 チャレンジングリスト
10月	後期始業式 球技大会 修学旅行(10/29～11/1)	ふるさと企業紹介 ステージアプリー到達度テスト 進研模試/基礎力診断テスト 校外学習セミナー	ステージアプリー到達度テスト 進研模試(進学)	大学入学共通テスト出願 進研模試・全統模試(進学)
11月	後期中間考査(3年) 読書週間 避難訓練	学問探究講座～大学等模擬講義～ 放課後学習会	学問探究講座～大学等模擬講義～ 放課後学習会	大学等学校推薦型選抜出願開始 放課後学習会 全統模試(進学) 特別時間割開始(進学)
12月	後期中間考査(1,2年) 冬季休業 冬季課外	放課後学習会 冬季課外 公務員セミナー・公務員模試(希望者)	放課後学習会 就職準備セミナー 冬季課外 公務員セミナー・公務員模試(希望者)	駿台模試(進学) 代ゼミパック模試(進学) 冬季課外(進学)
1月	冬季休業 冬季課外 授業再開 後期末考査(3年)	課題テスト 進研模試/基礎力診断テスト	課題テスト 各種模試(進路別) 除雪ボランティア	河合塾ハック模試(進学) 冬季課外(進学) 大学入学共通テスト 出願検討会・三者面談 国公立大学等個別試験出願 探究発表会(未来創造コース/産業工学科) チャレンジングリスト
2月	3年自宅学習期間 合格体験発表会(就職・短大・専門学校) 後期末考査(1,2年)	探究発表会 除雪ボランティア 放課後学習会 チャレンジングリスト	探究発表会 進研模試(進学) 地元企業説明会 放課後学習会 チャレンジングリスト	本番レベル模試(一般選抜受験者) 国公立大学等個別試験対策講座 国公立大学等一般選抜
3月	卒業証書授与式 合格体験発表会(大学) 修了式 春季休業	春季実力養成講座(進学) 公務員セミナー(希望者)	進路ガイダンス 春季実力養成講座(進学) 公務員セミナー(希望者)	国公立大学等一般選抜

<年間を通じて随時実施>

探究活動、生徒個人面談、進路相談、進路検討会、定期考査・模試等の振り返り、各種検定試験、進路別講座、進路講演会、小論文・面接試験対策、職業・学問研究、企業訪問・学校見学 など。



鹿角高校進路通信

第2号 秋田県立鹿角高等学校進路指導部 令和6年7月23日発行

各学年の進路活動より

<1年生> 社会人講話 7月4日(木)

鹿角市内の事業所等に勤める方々を講師として招き、講話をしていただきました。生徒は希望する2つの分野の講話を聞くことができました。講師の方々は次のとおりです。

講師所属	講師	講師所属	講師
かづの厚生病院	田口 玲子 様	恋する鹿角カンパニー	三上 英樹 様
	似鳥 慎子 様	株式会社せせらぎ宿	古川 哲平 様
花輪さくら保育園	黒沢 恵美 様	株式会社カミテ	上手 康弘 様
	柳沢 留美 様	株式会社浅利佐助商店	浅利 晋一朗 様
花輪ふくし会	畠山 遼介 様	株式会社石川組	石川 祐太郎 様
	小坂橋 綾乃 様	農事組合法人八幡平養豚組合	阿部 正樹 様

～生徒の感想より(一部)～

- ・今日聞いたどちらの仕事にも、言われたこと以上のことを想定し、準備することが大切だということが共通していた。また、よく見て、聞いて、考えて、お客様に合った行動が大切だということも共通していた。このことは学校生活の中で鍛えることができると気付いたので、視野を広く、まわりをよく見て行動することを大切にしたい。「鹿角で」ということも大切だと思った。鹿角は田舎で少子高齢化が進んでいるが、産業などすばらしいものがあると再発見できました。
- ・2つの講話から、休むことの大切さ、協力することの大切さ、あいさつの大切さを特に学びました。どれだけ頑張っても、その分のケアをしなければ次に働く時に元気がなかったり、思うように考えたり行動したりできなくて自分も周りも嫌な気持ちになってしまうと学びました。大人なんだから1人で物事を進めようと考えてしまうけど、その逆で、大人だからこそ子供の時よりも大変なことが多いので他の人に助けをもらい、その分、自分も他の人を助けて協力することは、物事を成功させるとともにみんなとの絆をきずくために大切だと気付きました。人とのつながりはあいさつから始まると知り、あいさつを元気よくすることで相手も自分も幸せになれるということも分かりました。相手との絆をきずくためにもこれからは元気よく、明るくあいさつしようと思いました。将来の職業選択のためだけではなく、今後の生活で気を付けていきたいことも学べたので、これからは今日教えてもらったことを心がけて生活していきたいです。
- ・命に関わる職業には、憧れや、収入が安定しているという理由だけで就いてはだめだと改めて思いました。全力を尽くしても命が失われてしまった時や、長い間関わってきた人が亡くなった時はとても辛く、メンタルが強くないと務まらないと話していたことや、頼られたり「ありがとう」という言葉があると、とてもやりがいを感じる話していたことが強く心に残りました。
- ・今日の講話では、どの職種であっても、その仕事とどう向き合って、どう接していくかといった人間性が大切だということについて学ぶことができました。また、学校で取得にむけて勉強をしている資格が役に立つ仕事があったので、その仕事に就かないにしても資格を取るということは自分にとって大切だなと感じました。
- ・どちらも直接人と関わる仕事で、大変なこともあるそうですが、それを楽しそうに話されるのですごいなと思いました。「自分の行動に責任をもつ、自分が選択したことに責任をもつ」ということを聞いて、視野を広げて、自分に向いていることを見つけようと強く思いました。また、落ち込んで仕事をやめたくなくなったとしても良いことは必ずあると思うので、あきらめずに働きたいなと思いました。
- ・今日の講話を聞いて、社会人になってから必要なスキルは高校生のうちからでも身に付けられるということが分かった。特に提出期限を守ることや、自主性・主体性をもつことは今からでも意識できると思ったので普段の生活からやっていきたい。プラス思考であることや自分のことを自分事としてとらえるという、仕事をやる上で気持ちの面でも必要なことがあったと分かった。



<2年生> インターンシップ 7月17日(水)～19日(金)

2年生170名が、63の事業所等でインターンシップを実施しました。7月4日(木)には講師の方を招いてマナー講習を行い、実施日までに、インターンシップを行う事業所に各自で電話をかけて必要事項を確認しました。3日間の就業体験はもちろんのこと、事前準備・事後学習等も含め、一人一人が「働くこと」について考えを深め、これからの進路活動にとって大変貴重な経験ができたと思います。



<3年生> 探究発表会 6月23日(日) ※鹿フェス(学校祭)

今年度の鹿フェス(学校祭)において、3年生の希望者(26名)による探究発表会が行われました。これまでの「総合的な探究の時間」を中心に、それぞれが設定したテーマに基づいて情報を収集したり、収集した情報を分析したりする探究活動に取り組んできたことをスライドにまとめ、鹿フェスの一般公開に合わせて発表しました。家族や友人、先生方も来場し、各自の発表の最後には質疑応答も行われました。



<探究発表会で発表された探究テーマ>

「鹿角を活性化させる方法について」	「産後のメンタル維持と家族の役割分担について」
「自分の考えを表現するには」	「ゴミ分別アプリの作成」
「地域活性化×現代文化」	「鹿角はこれからどのように発展していくのか」
「秋田県の医療」	「退廃美による表現について」
「国際関係について～今後国家間を通しての交流は増えるのか」	「良質な医療を提供するために」
「『たまごっち』の販売戦略」	「地域活性化のために～経済学で鹿角市を動かす～」
「ロヒンギヤを救えるか」	「日本の水族館と外国人の倫理観について」
「アジアの人種差別について」	「教育とアニメ」
「函館を救いたい」	「社会補償制度について」
「体調不良を解析」	「歯列矯正の需要」
「伝統工芸品の在り方」	「お産可能な医療体制を整えるために」
「人々が互いの個性を認め合う社会を作るには？」	「鹿角におけるモビリティの開発」
「ボランティアの可能性」	「医療現場で活躍する機材について」



鹿角高校進路通信

第3号 秋田県立鹿角高等学校進路指導部 令和6年7月23日発行

夏季休業に入ります —暑さに負けず有意義な夏に—

夏季課外はありますが、明日から約1か月間の夏季休業、「夏休み」となります。

1年生の皆さんは、高校生活にも慣れた頃だと思えます。定期考査や模試を振り返り、もし不本意な学習姿勢を立て直せずここまできてしまった人にとっては、この夏季休業中が正念場です。今までの生活を一度仕切り直し、高校生としての学習習慣を定着させていきましょう。

2年生の皆さん、「2年生の夏休みは受験学力の分岐点である」と言われます。基礎学力の向上は進学、就職のいずれの進路希望にとっても欠かすことのできない要素です。この夏休みは進路目標を具体化させつつ、学習習慣を確立し、学習方法を研究し、今後の成長のための基盤固めにじっくり時間をかけることができるチャンスの時です。「まだ2年生の夏休みだ」と思うのか、「もう2年生の夏休みになってしまった」と考えるのか。是非、自分の進路目標に向かっての行動を加速させる夏にしていきましょう。

3年生の皆さんにとっては、進路目標の実現に向けて大事な夏となります。進学、就職の試験を控えている全国の受験生が葛藤や不安を抱えているはずですが、皆さんの周りには必ずいつも皆さんを気にかけている人や皆さんの力になりたいと思っている人がいることを忘れないでください。また「受験は団体戦」です。一人一人がそれぞれに目標に向かって努力する姿はお互いの刺激になり、それが一人一人を後押しする大きな力を生み出していきます。できることを着実に実行し、自分の力を高めていきましょう。

<各学年に共通の「意識してほしいこと」>

- ①生活について —心身ともに健康な毎日—
 - 1) 生活のリズムを整えよう。(起床・家庭学習開始・就寝時間の固定)
 - 2) スマホは時間を決めて使おう。(お互いに配慮しよう)
- ②学習について —今の取り組みは将来の自分への投資である—
 - 1) 計画を立てて取り組もう。(いつまでに何をするか)
 - 2) 得意科目はもちろん、苦手科目(分野)にも取り組もう。
(後回しにしても、次々とやるべきことが見えてきて結局取り組めずに時間がすぎてしまいます…「後で」は禁物です)
- ③進路について —自分と本気で向き合う—
 - 1) コース選択、志望校・職種の設定、出願先の決定など、自分が納得して決断できるように「自分の意思」を固めよう。
 - 2) 調べるほど、考えるほど、分からないところが出てくるもの。
そのような時は家族や先生方に相談しよう。

<夏季休業中～休業明けの進路関係行事>

- ・7/24(水)～26(金) 夏季課外(1～3年)
 - ・7/29(月)～8/2(金) 3年夏季課外
 - ・8/5(月)～9(金) 3年夏季課外
 - ・8/8(木)～9(金) 3年全統共通テスト模試
(8/10(土)～14(水) 学校閉庁日)
 - ・8/19(月)～20(火) 3年夏季課外
-
- ・8/22(木) 授業再開、1・2年課題テスト
 - ・8/23(金)～24(土) 3年全統記述模試
 - ・8/24(土) 1・2年全統模試

お願い —進路関係旅行願について—

この時期は、オープンキャンパスや企業説明会など、校外でも多くの進路関係行事が予定されています。進路関係の様々な行事に参加する際は、なるべく授業日に欠席することがないように計画を立て、必ず保護者の方が承諾の上、「進路関係旅行願」の提出をお願いします。(用紙は担任の先生から受け取ってください。)なお、進学・就職の受験に出かける際も、事前に「進路関係旅行願」の提出をお願いします。「進路関係旅行願」で学割の発行を申請することもできますが、**学割は平日のみの発行となります**ので、時間に余裕をもって申請するようお願いします。また、進路関係等の行事に参加する際は感染予防対策につとめ、参加後は健康観察をお願いします。

校長	副校長	教務主任	進路指導主任	学年主任	担任
----	-----	------	--------	------	----

進路関係旅行願

秋田県立鹿角高等学校長様

下のことについて、保護者等連署の上、申請いたしますので、許可をお願いいたします。

令和 年 月 日

年 組 番 氏名

保護者等氏名

旅行目的 (○で囲む)	1. 受験(受験先名称、試験名:)
	2. 学校見学会 3. 企業訪問 4. 入学手続き 5. 高大連携事業 6. その他(具体的に:)
場所	
期 間	令和 年 月 日() 時から 令和 年 月 日() 時まで 日間
同 行 者	有() 無
宿 泊 (連絡先)	Ⅱ() -

※裏面に実施要項、受験票等のコピーを貼ること

きりと(生紙は切り取らないこと)

学生旅客運賃割引証交付願

発着駅	駅から	駅まで	クラス・番号	年 組 番
旅行期間	令和 年 月 日から	氏名		
	令和 年 月 日まで	年 齢		
必要枚数	枚	身分証明書番号	号	

進路の手引き－志高－ について

『進路の手引き－志高－』を発行しました。この冊子には進学・就職に関するデータ、出願に関する校内の規程や注意事項、受験のしくみや対策の進め方、先輩方からの助言などが載っています。皆さんが自分の進路希望について書き込みながらまとめることができるページもありますので、皆さんが進路について考えていくための手引きとして大いに活用できる冊子であると思います。皆さんが今の自分を理解し、進路目標を定めて、進路実現に向けて行動していくためには、この冊子に書かれている内容以外にも詳しい情報をさらに集めていかなければなりません、その情報はかなりの分量になります。進路に関する情報を集める際にも、この『進路の手引き－志高－』が手がかりとなるはずですので、ぜひ保護者の方とも内容を共有しながら、皆さんの進路活動に役立ててもらいたいと思います。

<進路の手引きのタイトル「志高」について>

鹿角高校の校訓「志高・共創・錬磨」は、志を高くもつこと、協働して共に新しい価値を生み出すこと、学業や技芸を鍛え抜くこと、を表した言葉です。「自分は将来どうしたいのか」という問いに対する答えが一人一人の「志」であり、一人一人の「志」に基づく行動の中から新しい価値が生み出され、高い「志」があればこそ学業や技芸が鍛え抜かれていきます。そのように考えると、校訓に掲げられている言葉のうち、「志高」は進路について考える上で大きな意味をもつ言葉であると言えます。このことから、この冊子のタイトルを『進路の手引き－志高－』としました。

令和 6 年度

鹿角高校 進路の手引き

志 高



秋田県立鹿角高等学校

年 組 番：氏名

<令和6年度 鹿角高校 進路の手引き－志高－ の構成>

はじめに

- ・『進路の手引き－志高－』発行にあたって
- ・年間進路指導計画
- ・令和5年度卒業生進路状況

I 進学編

- ・過去5年間の合格・進学先一覧
- ・大学入学共通テスト(旧センター試験)得点と合否状況
- ・2025年度大学入試日程
- ・大学等の入試における各選抜について
- ・学校を選ぶ際に考えておきたいこと
- ・学費・奨学金について
- ・夜間主コース・二部・フレックス制について
- ・偏差値について
- ・進学に関する校内規程と諸手続

II 就職編

- ・過去5年間の就職先一覧
- ・職業選択の際に考えておきたいこと
- ・求人票の見方
- ・公務員の採用について
- ・就職に関する校内規程と諸手続

III 対策編

- ・進学のための出願書類準備・試験対策について
- ・小論文試験の対策について
- ・就職のための応募書類準備について
- ・就職のための試験対策について
- ・面接試験の対策について

IV 合格体験記

- ・令和5年度(令和6年3月)に卒業した先輩方の合格体験記

V 実践編

- ・志望先の情報、志望動機、面接の想定問答、面接練習などについて書き込むことができるページ

VI 進路関係諸様式

- ・進学・就職の出願や受験において学校に提出する届出用紙などが載っているページ



鹿角高校進路通信

第4号 秋田県立鹿角高等学校進路指導部 令和6年10月24日発行

令和6年度後期が始まりました

猛暑の夏が終わり、一気に気温が下がって季節が進みました。鹿角高校が開校してから半年が過ぎ、3年生の就職・進学試験をはじめ、秋も多くの進路関係行事が予定されています。皆さん一人一人にとって実りの多い秋になることを期待しています。さて、今回は夏季休業中から先月までに行われた進路関係行事の一部を紹介します。

〈地元就職情報交換会〉 7月26日（金） 3年生（就職希望者）

3年生の就職希望者のうち34名が、「エスポワールかづの」で行われた地元就職情報交換会（主催・ハローワーク鹿角）に参加しました。鹿角地域の40社が集まり、参加した生徒は1人あたり4社について、企業の説明ブースを回って担当者の説明を聞いたり質問をしたりしました。別の日に大館地区で行われた同様の会に参加した生徒もおりますが、それぞれに、企業や職業についての理解を深めることができましたと思います。



〈公務員試験激励会〉 8月29日（木） 〈就職試験激励会〉 9月12日（木）

3年生の公務員試験受験者、民間企業等の就職試験受験者の激励会が行われました。激励会では校長先生、3学年主任の三森真実先生、副主任の奈良永子先生からの激励の言葉に続き、代表の生徒が、試験に臨むにあたり決意の言葉を力強く述べてくれました。



↓ 公務員試験激励会 ↓

就職試験激励会 ↘



〈建設産業担い手育成事業〉 9月11日（水） 2年生（普通科未来創造コース・産業工学科）

建設産業における担い手が不足している状況を受けて、建設産業の内容や魅力について理解を深めてもらう機会を設けることを目的に、秋田県鹿角地域振興局と鹿角建設業協会の主催による建設産業担い手育成事業が行われ、2年生の普通科未来創造コースと産業工学科の生徒が参加しました。当日は鹿角建設業協会女性部「AWAYUKI」の方々による講話に続き、4班に分かれて「ドローン」「機械操作」「遠隔臨場」「VR」の現場体験をしました。



「鹿角塾」スタート!!

鹿角高校では、各学年ともに進学・就職に関する様々な事業や講座等を計画しています。その一つとして、大学入試等に向けた教科の学力向上を目的とし、1・2年生の希望者を対象とした課外授業である「鹿角塾」が後期から始まりました。今年度の実施計画についてはすでにお知らせしていますが、毎週水曜日（考査期間等は除く）の放課後1コマ（60分）、1年生は計13回、2年生は計12回の実施を予定しています。「鹿角塾」への参加が、学力を高めようとする皆さんの挑戦をさらに後押しするきっかけとなることを期待します。

なお、「鹿角塾」の日に部活動がある場合は部活動への参加を優先してください。その他の事情により参加できない場合も含めて、もし希望があれば、その日の「鹿角塾」で使用した教材などをお配りしますので、教科・科目の担当の先生に相談してください。学校行事等により実施日時や教科・科目等が変更になることもあります。持ち物や日程・内容の変更に関する連絡、参加に際しての追加・補足の連絡があった場合はその都度お知らせします。

第1回「鹿角塾」の様子（10/2(水)）



令和7年度大学入学共通テスト出願

令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストに、本校からは3年生56名が出願しました。実施期日は、令和7年1月18日(土)と19日(日)の2日間で、出題教科・科目や試験時間は右の表（『受験案内』P.8より抜粋）の通りです。（疾病等のやむを得ない事情により当日受験できなかった人を対象とする追試験は1月25日(土)・26日(日)に設定されています。）

現在の高校3年生（令和4年度入学生）は「新課程履修者」となります。令和7年度の大学入学共通テストは現行の学習指導要領に基づき、昨年度から出題科目が大きく変更された教科があります。また出題教科として新たに「情報」が加わったほか、試験時間についても、国語と数学②が昨年度より10分ずつ長くなりました。

各大学等の個別試験についても、従来とは異なる指示や連絡事項が発表されている場合もありますので、今後もホームページ等で入試に関する最新の情報を確認していくことが必要になってきます。各自の出願先の情報には常に注意を払っておきましょう。

試験期日	出題教科	出題科目	試験時間
令和7年 1月18日(土)	地理歴史 公民	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 『公共、倫理』 『公共、政治・経済』 『地理総合/歴史総合/公共』 『旧世界史A』『旧世界史B』 『旧日本史A』『旧日本史B』 『旧地理A』『旧地理B』 『旧現代社会』『旧倫理』 『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』	2科目受験 9:30～11:40 1科目受験 10:40～11:40
	国語	『国語』	13:00～14:30
令和7年 1月19日(日)	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	『英語』 【リーディング】 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 【筆記】 15:20～16:40 『英語』 【リスニング】 17:20～18:20
	理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 『物理』『化学』『生物』『地学』	2科目受験 9:30～11:40 1科目受験 10:40～11:40
1月19日(日)	数学①	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』 『旧数学Ⅰ・旧数学A』『旧数学Ⅰ』	13:00～14:10
	数学②	『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『旧数学Ⅱ・旧数学B』『旧数学Ⅱ』 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』	15:00～16:10
	情報	『情報Ⅰ』『旧情報』	17:00～18:00

＜令和7年度大学入学共通テストについて＞
～昨年度の共通テストからの主な変更点～

- 国語：試験時間が90分となる（昨年度までは80分）。
- 地理歴史・公民：科目名と出題科目構成が大きく変更となる。なお、『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合は60分で二つの出題範囲を選択解答する。
- 数学：数学①②ともに試験時間が70分となり、数学②は科目構成も変更となる（昨年度までの数学②は60分）。
- 理科：理科①②と分かれていたが、地歴・公民と同様に1科目または2科目を選択して受験する形式となる。なお、『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』を選択する場合は60分で二つの出題範囲を選択解答する。
- 外国語(英語)：リスニングにおいてICプレーヤーを使用することも含め、昨年度からの大きな変更はない。
- 情報：共通テストに新設された。新課程履修者に対する出題科目は『情報Ⅰ』、試験時間は60分。



鹿角高校進路通信

第5号 秋田県立鹿角高等学校進路指導部

令和6年12月20日発行

各学年の進路活動より

本格的に冬が到来し、令和6年度後期も折り返しとなりました。今回は、秋から冬にかけて行われた様々な進路活動や進路関係行事の中から一部を紹介します。

<鹿角市介護人材育成セミナー> 10月2日(水) 1年生

鹿角市では、高校生が自分の進路について検討する際に「介護」の分野についても認識してもらいたいという趣旨でセミナーを実施しています。今年度は社会福祉法人愛生会から2名の方を講師に迎え、介護・福祉の仕事の必要性に加え、実際に仕事に就こうと決めるまでの過程、現在の仕事の「やりがい」などについてお話をうかがいました。介護の現場で用いられている器具を使用させてもらって体験の場面もありました。



<ふるさと企業紹介> 10月3日(木) 1年生

本校の職場定着就職支援員の山崎敏之さんから、秋田県の「成長5分野」といわれる重点産業や鹿角地域を拠点とする企業の事業内容等について紹介していただきました。



～生徒の感想より(一部)～

- どの職業でも『地域への貢献』がとても重要だと感じた。やりがいを感じられると楽しめる、また同じ職場の人と協力し合えると満足感を得られると分かった。私も将来鹿角で働きたいと思っているので今日の講話を聴いて将来に勇気をもつことができた。
- こんな身近に海外展開をしている企業があるのかと驚き、同時に鹿角や秋田の中には他にどのような企業があるのか、またどのような取り組みを行っているのかということにも目を向けてみようと思った。
- たくさんの企業がいろいろなことを考え、工夫して、地域の役に立っていると知ることができた。世界とつながっている企業があったんだという気付きがあった。県内就職は選択肢が少ないのかなと思っていただけ、案外、県内就職もありかもなと思った。たくさんの企業を見学して、自分の未来について考えたい。
- 1つ1つの企業がそれぞれの目標をもって世界や日本で活躍していることを知った。自分たちの生活が当たり前でできているのも全て支えてくれる人々や企業のおかげであると再認識することができた。
- 私は労働時間や休みの日数などを重視して、やりがいはあまり気にしていませんでした。しかし、自分の持つ力や技を国や世界に役立てられるように、よく学び、頑張りたいなと思いました。

<成年教育講座> 10月31日(木) <消費者教育講座> 11月27日(水) <租税教室> 12月4日(水) 3年生

成年として必要な関係法令知識や成年年齢引き下げに伴う影響等を学ぶ「成年教育講座」、消費者トラブルの防止方法や相談窓口等について学ぶ「消費者教育講座」、税金の役割や税制度について学ぶ「租税教室」が、それぞれ講師の方を招いて行われました。



＜校外学習セミナー＞ 10月31日（木） 1年生

6つのコースに分かれて地域の企業・事業所等を訪問しました。就職か進学かといった進路希望の違いはあると思いますが、それぞれが進路に関する考えを深める大変貴重な機会になったと思います。

Aコース	株式会社田代製作所、石垣鐵工株式会社
Bコース	東光鐵工株式会社、株式会社ホテル鹿角
Cコース	株式会社ミートランド、株式会社浅利佐助商店、株式会社柳澤鐵工所
Dコース	株式会社バイテックファーム鹿角、山口電機工業株式会社秋田工場、湯瀬ホテル(株式会社せせらぎ宿)
Eコース	小坂製錬株式会社、株式会社日本ピージーエム小坂工場、十和田精密工業株式会社秋田工場
Fコース	鹿角市役所、鹿角広域行政組合消防署、鹿角警察署

～生徒の感想より（一部）～

- ・私は大学への進学を希望していて、今回の見学先は自分にはあまり関係ないと思っていましたが、進路の選択肢が広がる、とても良い経験になりました。「失敗した数だけ成功がある」という言葉が心に残りました。失敗を恐れず、たくさん挑戦していきたいです。
- ・普段意識しないで使っているものも、誰かの頑張りや心が込められているものだと感じました。もう一度、地元の企業のことを見直していきたいと思いました。
- ・今回のセミナーを通して、資格取得の大切さ、仕事をするの大変さ、一つ一つ丁寧に作業することの難しさなどを学ぶことができました。学んだことをこれからの進路や学校生活に生かしていきたいです。
- ・今回見学した企業それぞれに、お客さんにしっかり応えるための工夫がされていると分かった。しかも、その工夫はそれぞれの企業で全く異なるものだったのでおもしろかった。「お客さんだけでなく従業員の笑顔が心がけている」と話していたことが印象に残った。従業員一人一人が笑顔だと、お客さんも自然と笑顔になっていくと思った。
- ・それぞれの会社に独自の強みや魅力があり、それを生かしながら働いていることが分かった。また、働き方を工夫することが自分の地域を活性化させることにもつながると分かったので、これからいろいろなことに目を向けて学んでいきたいと思った。
- ・「自分にできる範囲と他の人のできる範囲は違うから協力すれば良い。」当たり前なことだけど、とても大事なことだと思いました。何の仕事でも、今出せる力を全部出すことが大切だと学びました。
- ・見学した企業に共通していることは、誰かのために、自社の製品に誇り・プライド・自信をもってこだわり抜いた製品を作っているということだ。やはり、自分が作るものに絶対的自信とこだわりをもって、それを裏付ける技術力があるのが一流だと思った。自分もそうなれるように知識、技術を日々磨いていきたいと思った。



＜就職準備セミナー＞・＜志望理由書講座＞ 12月18日（水） 2年生

就職希望者を対象とした「就職準備セミナー」では、あきた就職活動支援センターから講師の先生をお招きし、新規高校卒業者の就職に関する様々なデータ等を丁寧に説明していただくとともに、これから一人一人が「働く目的」についての考えを深めていく上で大いに参考になるお話を聴くことができました。また、自己分析をする際の手がかりを学んだり、OHBYカードを使用した職業適性診断に取り組んだりもしました。進学希望者を対象とした「志望理由書講座」では、株式会社リクルートから講師の先生をお招きし、志望理由書に盛り込むべき内容や文章に説得力を持たせるための組み立て方などについて学ぶことができました。

就職準備セミナーの様子





鹿角高校進路通信

第6号 秋田県立鹿角高等学校進路指導部 令和6年12月20日発行

学問探究講座を実施しました 11月14日(木)

大学・短大・専門学校の教員による講義の受講や、様々な業種の事業所で働く方々との対話を通して、学問に対する興味・関心や「学ぶこと」に対する考察を深め、一人一人の進路選択に生かすことを目的として、1・2年生全員を対象に「学問探究講座」を実施しました。講座は1コマ70分で、生徒は22講座の中から2つの講座を選択して受講しました。一人一人の進路希望は異なっていますが、教養を深めることや物事を深く考えることは皆さんにとって必要なことだと思います。今回の講座を通して学んだことを、是非これからの様々な活動に生かしていきましょう。

<令和6年度「学問探究講座」実施講座>

No.	講座	No.	講座	No.	講座	No.	講座
1	人文社会	7	情報工学	13	リハビリテーション	19	スポーツ
2	心理	8	理学	14	福祉	20	公務員
3	国際関係	9	工学	15	管理栄養	21	就職Ⅰ
4	経済・経営	10	建築	16	保育	22	就職Ⅱ
5	教育	11	看護	17	理美容		
6	地域創生	12	美術	18	調理・製菓		



～生徒の感想より（一部）～

- ・高校の日本史と大学の日本史は延長線上にあるものではないということが分かりました。自分は歴史が得意ではないけれども大学進学を選択肢が広がりました。一次史料や二次史料に関する今日の学びを生かして、自分の将来をよりよいものにしたいです。
- ・心理学は身近なところで用いられているものだと分かった。相手の行動を見て感じることは、その行動を自分に置き換え自分と同じように感じることで知り、納得できた。心理学を学ぶことで、ものの見方や考え方が変わってきたり、誰かの気持ちに寄り添ったりできるのではないかと感じた。
- ・人々が物事に対していろいろな偏見をもつのは知識がないからであり、それによって様々な誤解を生んでしまうと考えさせられました。今回の講座ではイスラム教について学びましたが、やはり自分がもっているイメージとずれていました。このようなイメージのずれをなくすには、物事に対して、学ぼうとする姿勢が大事だと分かりました。
- ・ルールと自由という2つの事象は相反するもので対立するもの仕方がないと思っていたけど、今回の講義で対立するものではないという結論に至り、とても驚いた。今の社会の構造がどのようにできたのかを知ることができてよかったし、世の中に対する理解を深める良い機会になった。
- ・今回の講座のテーマであった「どうして指示どおりに動かないのか」は、相手によって指示がしっかり通っているときとそうでないときがあるからで、大事なことは双方向性や相手の特性をよく理解することであると学んだ。将来だけでなく今後の部活動にも生かせる内容の講座だった。
- ・地域創生についてのイメージが地域活性化だったので、移住者や観光客の増加ではなく地元の人を楽しめる町づくりが目標であると知って驚きました。地域の文化を受け継ぐなかで、伝統を守るのか、お金や人を集めるために新しいことに挑戦するのかのどちらを選ぶのかが大きな問題であり、これからの鹿角でも考える必要性が出てくるのだろうと感じました。
- ・ネットワーク技術の歴史を学んだ。ネットワークの歴史はアナログからデジタルまで250年もあるという話が印象に残った。そしてコロナ禍によりインターネットやAIの技術が50倍近くのスピードで発展したという話を聞いて複雑な気持ちになった。人の生活を豊かにする一方、発達に伴って犯罪も増加しているので、知らず知らずのうちに人に迷惑をかけないように気を付けていきたい。

- ・中学校で学習した知識を交えた説明をしていただいていたので納得することができました。家でも宇宙や星座の図鑑は読んでいますが、知らなかったことも知ることができました。宇宙についてまだまだ知らないことがたくさんあるので、解明されていないことが解明されたらすぐに知りたいと思いました。
- ・電池の根本的な仕組みの説明を受けてみて、難しい内容ではあったけどおもしろさもあった。今回の講義を通して、化学をもっと学べば難しい内容でも楽しいと思えるんじゃないかと感じた。これからもっと化学を学習して、深い知識を習得して楽しいと思えるようになりたい。
- ・「建築」というテーマだけでも複数の学問から成り立っていて、いくつかの学問から一つのことにつなげて考える分野もあると分かった。建築史学を今回学んで、昔の文化等が併合、進化した結果、今まで続いているものがあると知って、今に続いているものの大切さが分かった。
- ・現在では医療技術も高くなってきているため手術や治療を受ける人が増えていること、1999年の大きな事故があったから国をあげて安全な医療を掲げるようになったことでさらに看護師が足りないことが問題になっていることが分かりました。利き手以外の作業や会話をしてはいけないという制限をかけた実習をしてみて、体が不自由な人の立場を考えることや仕事をする上でのコミュニケーションの大切さを改めて感じました。
- ・自分は理学療法士を目指しているの、それについて詳しく聞くことができてよかった。また作業療法士についても詳しく学ぶことができ、自分が今から高めていくべき能力を知ることができた。今までのリハビリテーションに対する固定概念を改めて、どのようなことをしていくのがリハビリテーションなのかを知ることができた。
- ・今回の講座を受けて、専門学校選びはとて大切なんだと思いました。美容の専門学校を選ぶときは、職業実践専門課程がある学校やパーソナルカラーが学べる学校など、ちゃんと見極めて学校選びをしていきたいと思います。
- ・今日は簡単な調理だったけど、完成したトルティーヤはすごくおいしくて感動しました。食べるときに改めて「いただきます」の意味を考えて、ただ言うだけでなく、しっかり心を込めないといけないなと思いました。
- ・ボクササイズをやってみて、意外にきつく、汗もたくさんかいたけど楽しく行うことができて良かったです。スポーツトレーナーになるには、体を動かすことが好きだからというだけでなく、知識も大切で、コミュニケーションや体力も必要だと思いました。
- ・就職する上で、どの仕事もあいさつやコミュニケーションがとて大事だと知ることができた。分からないことは自分から聞くなど、コミュニケーション力を身に付けて積極的に人と関わっていくことが大切だと分かった。これからの学校生活で自分の強みや武器を見つけてそれを磨いていき、自分の強みを生かせる、自分に合った職業を見つけていきたいと思った。

冬季休業中について —寒さに負けず充実した取り組みを—

冬季課外はありますが、明日から約3週間の「冬季休業」となります。

1・2年生の皆さん、年が明けて進級するまでの約3カ月間は「2年0学期」や「3年0学期」といわれ、次の学年をスムーズに始めるための大事な準備期間です。学習面では各教科からの課題に真剣に取り組むのはもちろんのこと、これまでの模試の問題を解き直すなど「課題+αの学習」にも取り組んで学力の基礎を固めていきましょう。「基礎」とは「易しいこと」という意味ではなく「物事の土台となる重要なこと」と捉え、また、これまでの学習や部活動、学校行事、探究活動などを振り返り、自分が経験したこと、考えたこと、感じたことなどをぜひ書き出して整理し、自分の将来に対する思いを深めていきましょう。その思いが、これから皆さんがさらに成長していくための原動力になるはずです。**3年生の皆さんにとっては、これまで以上に「自己管理」が求められる冬になります。**自動車学校に通ったりアルバイトをしたりする人もいると思いますが、この時期は降雪・凍結といった天候だけでなく、年末年始を迎えるどこか荒ただしい雰囲気の中で思わぬ事件・事故も心配されますので、来春からの生活のためにくれぐれも気をつけて、安全な生活を送ってください。また、ここでしっかり高校の学習内容を身に付けておくことが今後の自分を支える基礎となりますので、ぜひ学習にも意欲的に取り組んでください。これから受験を迎える人は言うまでもなく全力で向かっていくだけです。日中の試験に備えて生活リズムを「昼型」にしつつ、心身ともに健康であることが何よりも大事です。焦りも出てくるはずですが、未完成の科目ばかりに没頭せず、各教科のバランスを考えながら着実に学習を進めましょう。「受験は団体戦」といわれます。一人一人がそれぞれに努力している姿はお互いを励まし、個々の力をさらに引き出していってくれるものです。それぞれの取り組みが充実したものになることを期待します。

<冬季休業中～休業明けの進路関係行事>

- ・12/23(月), 24(火), 25(水)
1, 2年冬季課外/公務員セミナー・模試
 - ・12/23(月), 24(火) 3年冬季課外
 - ・12/25(水), 26(木) 3年代ゼミ・パック模試
 - ・1/6(月), 7(火) 3年河合塾・パック模試
 - ・1/8(水), 9(木), 10(金) 3年冬季課外
-
- ・1/14(火) 授業再開 1, 2年課題テスト
 - ・1/17(金), 18(土) 2年進研模試
 - ・1/18(土) 1年進研模試/基礎力診断テスト
 - ・1/18(土), 19(日) 大学入学共通テスト



鹿角高校進路通信

第7号 秋田県立鹿角高等学校進路指導部 令和7年2月28日発行

3年生の進路活動より

就職・進学を含めた本校の3年生全体の進路内定率は90.4%（2月27日現在）となっています。3年生が取り組んできた様々な進路活動やセミナーの中から、今回は年が明けてから行われた進路活動等の一部を紹介します。

<コミュニケーションセミナー> 1月16日（木）

あきた就職活動支援センターと秋田県教育庁高校教育課が連携し、3年生の就職希望者を対象としたコミュニケーションセミナーがオンライン形式で実施されました。「仕事」や「働くこと」の捉え方、仕事をする上で必要とされること、労働法規や相談窓口に関すること等について、説明を聴いたりペアワークをしたりしながら学びました。まもなく社会人となる3年生の皆さんにとって、非常に実践的な内容を学ぶことができたセミナーであったと思います。



<年金セミナー> 1月22日（水） <スーツ着こなし講座> 1月23日（木）

年金の制度や役割について学ぶ「年金セミナー」、新生活に向けてフォーマルな場での身だしなみ等について学ぶ「スーツ着こなし講座」が、それぞれ講師の方を招いて行われました。加入する年金の種別によって保険料の支払い開始年齢等が異なるものの、若い皆さんにも保険料支払いの義務が生じます。今後、制度が変わる可能性もありますが、しっかりと理解しておく必要があります。また、高校在学中は公的な場で当たり前のように学校の制服を着用していましたが、これからは自分で選んだスーツ等を着用する機会も多くなると思います。高校卒業を間近に控えた皆さんにとって大いに参考になるセミナー・講座であったと思います。

スーツ着こなし講座の様子



大学入試が続いています

1月18日（土）・19日（日）に大学入学共通テストが行われました。前日の17日（金）には、先生方から激励の言葉をいただき、代表生徒の決意表明も行われました。「新課程1期生」となる今年度の3年生が受験した共通テストは出題教科・科目や解答時間について昨年度までと大きく変更になった部分もありましたが、本校から共通テストに出願した3年生56名は、全員が事前に登録した教科・科目の受験を全うすることができました。2月に入ってからは各大学等の一般選抜が本格的に始まり、2月25日（火）・26日（水）には国公立大学二次試験の前期日程が行われました。一般選抜については、これまでに多くの私立大学等で合格発表が行われ、今後は、私立大学の二期（後期）以降の募集、国公立大学の前期日程の合格発表、国公立大学の中期日程・後期日程の試験等と続きます。健康に留意しながら、最後まで粘り強く努力を続け進路実現に向かっていきましょう。

大学入学共通テスト激励会の様子



卒業によせて

明日3月1日は鹿角高校として初めての卒業証書授与式が行われ、156名の3年生が鹿角高校を卒業します。3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。3年前、皆さんは花輪高校・十和田高校・小坂高校にそれぞれ入学しましたが、「鹿角高校1期生」として、入学当初から新たな活動や取り組みが行われてきました。一方で、昨年卒業した皆さんの先輩方は花輪高校・十和田高校・小坂高校の各校にとって最後の卒業生であり、一つ一つの活動に全力で取り組み成果を上げてきた先輩方の姿は、皆さんの脳裏にしっかりと記されたことと思います。そのように各校で培ってきたものを生かし、皆さんは今年度開校した鹿角高校の最上級生として、新しい学校づくりの先頭に立って様々な行事や活動に取り組み、後輩たちだけでなく、保護者の方々や地域の方々など、多くの人に認められる功績を残してくれました。皆さんが高校生活を通して積み重ねてきた経験や身に付けてきた力は、これから皆さんが豊かな人生を送るための支えとなるはずで、進路先が内定している人も、今まさに進路実現に向かっていている人もいますが、それぞれが自分の足跡を糧として、これからも各方面で益々活躍してくれることと期待しています。1・2年生の皆さん、先輩方が模索しながら切り拓いた道を、今度は皆さんが進んでいく番です。鹿角高校最初の卒業式を迎える明日は、先輩方の門出をお祝いしつつ、改めて自分の目標を確認し、将来への道筋の見通しを立てる日にしましょう。

<「私が紡いだキャリア」―嫌いだっただ元で家業を継いだのは「ここにしかないもの」に気づいたから―>
(株式会社世羅高原農場 代表取締役 吉宗誠也さん)

広島県の中東部に位置し、なだらかな山の連なる地域、世羅高原。この地で生まれ育った私は、幼いころから自分の住む町のことが大嫌いでした。自宅があるのは山の中で、見渡すかぎり自然の風景。学校までは遠く、帰りは山道を上ることになり、体の弱かった私には苦しい日々でした。中学3年で担任の先生からたまたま紹介されて、世羅の町から離れた福山市の高校に進学し、寮生活を送ることに。地元から離れたい思いは一層強まり、県外の大学に進みました。もう地元に戻るつもりはない。将来は都会の企業で、メディア関係の仕事に就けたら、と漠然と憧れを抱き始めた大学1年生の冬に、父が亡くなりました。もともと養鶏場を営んでいた実家では、私が高校生ごろに父が近所の農園を引き継ぎ、花の観光農園を始めていました。ただ当時の私はまったく興味なし。仕事人間で厳しい父とはあまり会話がなくて、私に家業を継ぐ思いなどまったくなかった。そんななかいきなり父がいなくなり、母が経営を継ぐもののドタバタ状態です。私も繁忙期には帰省して、アルバイトで農園を手伝うことにしました。そして大学2年生の春。満開のチューリップ畑の前で接客をしていた私は突然声をかけられたのです。「あなた、いいところに住んでいるわね！」おそらく都心部からいらしたそのお客様はこの農園、そして世羅の町がいかにも素晴らしいかを、勢いよく私に語り出しました。ここはそんなに褒めてもらえるような場所だったのか。聞いている私の胸の奥がどんどん熱くなっていきます。自分の内側で何かのスイッチが入ったような感覚に。よく知った町が、それまでとはまったく違うように思えてきたのです。そのとき自分の内側で生じた熱は冷めることがなく、大学卒業後、地元に戻り実家の観光農園業を継ぐことを選択しました。今思えば私は、お客様の言葉によって「ここにしかないもの」の可能性に気づかせてもらったのだと思います。このあたりは標高が高く気温が低いので、市街地より花が遅れて咲きます。ちょうど5月の連休にかけて春の花が満開になり、市街地では育てにくい花を育てるのに向いている。広大な土地があり、都心では得られないような一面の花畑の感動を味わえる…。アクセスの利便性や都会らしい華やかさ、新しさといった「ここにないもの」にばかり意識が向いていた私が、「ここにしかないもの」に気づいた。しかもそれらは、地形や気候に由来する、そう簡単には変わることのないもの。その「ここにしかないもの」の価値を、花や観光サービスを通じて町の外に向けて届けたいと考えるように。そして修行を経て20代で代表になった私は、農園の大改革を決めました。花の種類や植える時期など工夫を重ね、経営を学び、数千万円の借金をして園の施設や花畑の大改修を実施。世羅高原ならではの体験を、さまざまな客層のお客様にお届けしたいとチャレンジしました。すると地道に続けたことの成果が表れ、入場者数や売り上げ数が右肩上がり伸びていったのです。このことで自信が付き、2007年に創業時からの「旭鷹（きよくほう）農園」という社名を「世羅高原農場」に変更しました。地元では私は群を抜いて若い経営者であり、町の名前を冠した社名をつけるのはかなり勇気がいりましたが、「私たちの仕事はこの町を発信していく仕事なのだ」と、不転の決意を社名に込めたのです。気持ちが固まったところに、たまたま地方新聞からコラム執筆の依頼を受け、町の良いところを発信できる機会だと喜んで引き受けることに。メディアに取り上げてもらう機会も増えていき、新しい企画を立ち上げたり、花の種類を増やしたり。そして今や運営する観光農園は4つに。現在5つ目の施設の開園に向けて取り組んでいるところです。2024年春に開催した「世羅高原春の花めぐり」では総計17万7000人のお客様にいらしていただきました。この数字は世羅町の人口の約12倍にあたります。高校時代の私には、それほどの観光客が地元を訪れている未来も、この地で働いている自分の姿も、まったく想像できませんでした。自分の住む町が嫌いで「こんな田舎には何も無い」と否定的な捉え方をしていた、あのころの私そのままなら、挑戦するタイミングが目の前に訪れたとしても、気がつかずにスルーしていたかもしれません。前向きに、「今ここにあるもの」の良いところを見ながら取り組んでいると、やってくるチャンスに全力で乗ることができるのです。チューリップ、ひまわり、ダリア…。どの植物も、花が咲くのは一年にたった一度です。私たちはその一瞬のチャンスにかけて1年間全力で取り組みます。天候など状況は毎年変わり、いつ咲くか、どう咲くか、そのとき周りの環境がどうなっているのか、事前に予想はできません。それでも、来たる機会を必ずつかむため、咲くことを信じて取り組み続ける。その前向きさが未来を切り開くのは、きっとキャリアも同じですね。



鹿角高校進路通信

第8号 秋田県立鹿角高等学校進路指導部 令和7年3月21日発行

冬の進路関係行事より

<地元企業説明会> 2月4日(火) 2年生

鹿角市文化の杜交流館「コモッセ」を会場に「鹿角地域『知ろう！見よう！聞こう！地元の仕事』高校2年生向け企業説明会」が行われました。地元の産業や仕事に対する理解を深め、地元就職への意識の醸成を図ることを目的に、鹿角地域振興局が主催し、鹿角公共職業安定所、鹿角市、小坂町、かづの商工会が後援して行われた事業です。当日は鹿角・大館を中心とする26の事業所がブースに分かれて職種の特徴や求める人材などに関する説明を行い、生徒はグループごとにブースを回って説明を受けたり質問をしたりしました。就職希望者はもちろん、進学希望者にとっても、進路目標を定めていく上で非常に貴重で有意義な機会になったと思います。



～生徒の感想より(一部)～

- ・業種が同じならどの会社もほとんど同じようなものだと思っていたけれど、実際に話を聞くと会社ごとの取り組みが様々で、知らなかった面が見えてきたので、学ぶことが多く、楽しかった。
- ・現在考えている進路とは違った分野の企業の話聞いてみるとすごく楽しかった。一つの企業で様々な業務が行われていると分かった。
- ・地元企業への理解度が高まり、興味のある企業が増えました。また、自分は進学希望だけど地元就職への関心が高くなりました。より地元に貢献できるような選択をこれからしていきたいです。



<就職ガイダンス> 3月12日(水) 2年生

「就職ガイダンス」は厚生労働省の委託事業として株式会社東京リーガルマインドが運営している企画で、当日は講師の先生をお招きし、2年生の就職希望者がコミュニケーションやマナーの基本、就職活動に関わる書類の見方や書き方などについて学び、模擬面接も行いました。特に模擬面接では、面接試験を受ける側だけでなく面接官として評価する側の立場も経験してみたことにより、大事なポイントや自分がこれから取り組んでいくべき課題に改めて気付くことができたのではないかと思います。



～生徒の感想より(一部)～

- ・今回のガイダンスで第一印象は数秒で決まってしまうと聞いたので、身だしなみや立ち居振る舞いは普段から気を付けて行動し、自然な表情もできるように頑張ります。面接練習では自己PRがまだまだだと感じたので、しっかり考えて良い自己PRができるようにします。
- ・今回、就職ガイダンスを受講して、礼儀や求人票の見方など、就職に必要なことをたくさん知ることができました。特に、採用のときに求められる要素としてコミュニケーション能力だけでなくチャレンジ精神が大切だと知り、高校でたくさんの方にチャレンジすることで自信がつくように、これからの高校生活での意識を変えていきたいと思えます。
- ・自分の将来について考えることが多く、とてもためになりました。自己PR文の作り方を教えてもらったので、覚えておきたいと思えます。面接練習をしてみて、話す内容とスピードは良いと思うけど、もう少し元気があって笑顔も意識すれば第一印象が良くなると思えました。

春季実力養成講座を実施しました 3月15日(土)・16日(日) 1・2年生希望者

普段受講する機会の少ない予備校講師の授業を受講することを通して、受講科目の基礎力養成と次年度に向けて学習習慣の確立・維持を図ることを目的として「春季実力養成講座」を実施しました。講師として、代々木ゼミナールから三沼秀樹先生(英語)と鈴木東栄先生(数学)をお招きしました。2日間の講座を受講し終えた後に記入してもらったアンケートからは、受講した英語と数学の学習のみならず、今後の学習や進路活動に向かう上で大いに刺激を受けた様子が伝わってきました。自分の将来のために、今できることを継続して着実に実践していきましょう。



～生徒の感想より(一部)～

- ・今まで何となく解いていた問題を、しっかりと理解し、詳しく学ぶことができた。今回の内容を生かして復習を頑張りたい。
- ・とても分かりやすかったし、いつもの授業より時間的には長いはずなのに感覚的には短く感じるほど話がおもしろかったです。
- ・先生方の教え方や体験談など、全ての内容が濃く、飽きなかった。重要な部分を強調して教えてくださったのでしっかり書くことができた。書いて終わりではなく、しっかり応用できるようにしたい。
- ・どの部分が大切なのかが分かりやすく、問題を楽に解けた。どのように勉強していけば良いのかが分かった。
- ・90分は長いかなと思っていたが、先生のお話がとてもおもしろく、また解説も今までにないくらい分かりやすく、毎日受けたいと思うくらい、参加して良かったなと思った。
- ・いろいろな表現で、難しいことや基礎の内容を分かりやすく解説していて、すごく勉強になって良かったなと思いました。正直、ついていけるか不安だったけど、どう勉強していけば良いかなども知ることができたので、挑戦していきたいなと思いました。
- ・共通テストを解くための学び方や点数をとるための学び方が分かってきた。みるみるできるようになるから、すごく楽しかった。
- ・普段ワークなどで解いていて苦手だった問題もしっかりと理解することができました。この学びを無駄にしないためにも、復習とこれからの学習を大事にしていきたいです。
- ・授業で知っていた範囲の内容だったが、今回の講座で別の視点から再び考えることができ、より理解が深まった。
- ・とても有意義な時間で、勉強を頑張っていこうと再認識することができました。志望校合格に向けて継続して頑張りたいです。

なお、3月24日(月)・25日(火)には、12月に実施した冬季公務員セミナーに続き、上野法律ビジネス専門学校から講師の先生をお招きし、1・2年生の希望者を対象とした春季公務員セミナーを実施する予定です。

1・2年生探究活動発表会が行われました 3月18日(火)

「総合的な探究の時間」を中心として取り組んできた探究活動について、3年生は学校祭やクラスでの発表会を行いました。今回は1・2年生の発表会が行われました。当日は来賓の方々にも来校していただき、前半は各学年の代表者が16教室に分かれて発表し、後半は第一体育館で各学年の代表者が発表しました。探究活動を通して得られた新しい発見や気づきを生かして、これからの学びをさらに深めていきましょう。





鹿角高校進路通信

第9号 秋田県立鹿角高等学校進路指導部 令和7年3月21日発行

合格体験発表会を実施しました 就職：2月7日（金） 進学：3月12日（水）

進路が決定した3年生から1・2年生に対して、学校生活や学習方法、進路活動等についての自身の経験を基に講話をしてもらう合格体験発表会を実施しました。就職と進学に分かれ、10名ずつの3年生に講話をしてもらいました。学校の先頭に立って頑張る姿をいつも見てきた先輩方の話は、1・2年生の皆さんにとって非常に現実的で、説得力のあるものだったと思います。もちろん進路先によって異なる内容はありましたが、共通していることもかなりありました。今回の合格体験発表会を通して、これからの学習や進路活動に対する意欲が高まり、気持ちを新たにしたい人も多いと思います。ぜひその意欲や気持ちをこれからの行動に生かしていきましょう。（↓左2枚が就職、右2枚が進学）



～生徒(1・2年生)の感想より(一部)～ <就職>

- 今回の発表会を通して、日常のあいさつや返事、面接練習が特に大切になってくると分かった。普段からあいさつや返事、字をきれいに書くことに気を付けていれば、試験の当日も普段通りにできると分かった。試験までに計画的に履歴書を書き、面接練習をして、余裕をもって準備したいと思った。
- 先輩方の後悔や我々へのメッセージを参考にし、大事にしていきたいと思いました。挨拶や敬語などの基本的なことを学校生活で習慣化していきたいと思いました。コミュニケーションが苦手なので、少しでも克服できるように話したことがない人とも話していきたいです。就職したい企業は決まっているけど、他の企業についても調べて選択肢を広げることも大事だと分かりました。資格も取っておいた方が良いとおっしゃっていたので、このまま挑戦して資格を取ってきたいです。
- 先輩方の話を聞いて、「コミュニケーションはあいさつから」ということが一番印象に残りました。それが面接や働くときに役立つことが分かったので、意識していきたいと思いました。また、自分の将来がはっきりイメージできる職につくことが大切だと思いました。深く考えることでよりよい職につくことができ、将来が豊かになると思いました。早く将来の目標を決めて、できることからどんどん挑戦したいです。
- 就職活動をする際には普段の高校生活が見られるということを改めて認識させられた。高校生活を送る上で「赤点をとらない、提出物は期限までに出す、あいさつの習慣をつける」などを今よりも気を付けていきたいと考えた。

～生徒(1・2年生)の感想より(一部)～ <進学>

- 受験勉強は何から始めれば良いのか分からなかったのですが、テーマ研究を行動に移してみたりボランティアをしたりする経験も大事で、アプリなどで手軽に勉強できることも分かりました。多くの先輩方が何月何何をすべきかをおっしゃっていたので、不安が少し解消されました。今のうちに人前に立つ経験しておくべきだとおっしゃっていたのを聞いて、今の自分が経験していることは将来のためになることなんだと気付いたので良かったです。
- 評定が大切というのは聞いていたけれど、具体的にどんな勉強をどのくらい勉強したら良いのかが分からなかったのので、先輩方の話を聞いて良かったと思いました。
- 自分の生活は部活の割合が多いが、自分と同じく部活で忙しかった先輩方もおり、自分の時間がほとんどなくても、最低限、小テストの勉強をしたり提出物をしっかり出したりしていたことなど、自分にも取り入れられることを多く話されていてとても参考になった。忙しい生活の中で、勉強・部活・自主練のどれも手を抜かず、全て自分のためになるように努力したい。「健康」が大切なことも分かったので、先輩を見習って生活していきたいです。
- 先輩方それぞれの価値観を聞くことができたのでとても良かったです。今からできる勉強、対策、学校調べのことも知ることができたので、実践していきたいと思いました。どの先輩も評定が大事だと話していたので、高く保てるように頑張りたいと思いました。

「鹿角高校チャレンジングリスト」の結果より

今年度、皆さんには9月と2月（3年生は9月と1月）の2回、「鹿角高校チャレンジングリスト」に回答してもらいました。チャレンジングリストは、皆さん一人一人が高校生活を振り返り、自分の行動や態度、身に付いた力などについて自己評価をしてもらうための質問項目です。「1・学校生活と人間関係（14問）」「2・学習への取り組み（16問）」「3・進路計画とその実践（20問）」「4・部活動、体験活動、地域との関わり（14問）」の4分野についての質問項目があり、学年に応じた質問項目に回答してもらいました。質問項目は「仲の良い友人同士でも、相手を気づかった話し方、言葉づかいができる。」というように○か×かで回答するようになっており、**○と答えた人数の割合をまとめたものが右の表です**。いずれの分野についても、9月の割合に比べて、2月（1月）の割合が高くなっています。

特に「3・進路計画とその実践」については、各学年ともに○と答えた割合が他の分野よりも大きく増加していました。様々な経験を通して、将来に対する考えが深まってきていることの意味だと思います。チャレンジングリストを通して、自分自身で気付いたことを、これからの学校生活にぜひ生かしていきましょう。

＜チャレンジングリストの質問分野＞	9月	2月(1月)
1・学校生活と人間関係	90%	91%
2・学習への取り組み	75%	78%
3・進路計画とその実践	75%	80%
4・部活動、体験活動、地域との関わり	88%	90%

明日から春季休業です —新年度に向けて有意義な春休みに—

春季休業は約2週間と短いですが、先輩方による合格体験発表会を通して皆さんも実感したように、新年度に良いスタートをきるために非常に重要な期間です。学年が一つ上がることにより、学習内容はさらに深く、難しくなるため、学習習慣を確立させるとともに、既習事項を定着させておく必要があります。部活動や学校生活においても集団の中で果たす役割が変わり、これまで以上に、多くの方が皆さんの姿勢や振る舞いに注目すると思います。一方で、「注目されている」ことを意識しながら生活することも進路実現には必要だということを、皆さんは先輩方の講話から学んだと思います。ぜひ心身ともに健康で、新年度の準備をしっかり整え、短いながらも充実した時間を過ごしてくれることを期待します。

＜春季休業中～新年度当初の主な行事＞

- ・3/24(月)・25(火) 1,2年春季公務員セミナー
- ・4/7(月) 前期始業式
- ・4/8(火) 入学式
- ・4/10(木) 2,3年到達度テスト
- ・4/11(金) 2,3年授業開始 1年ステージサポート
- ・4/12(土) 3年公務員模試
- ・4/14(月) 1年学びみらいPASS 1年授業開始
- ・4/16(水) 1年到達度テスト
- ・4/17(木) 2年進路ガイダンス

＜令和6年度卒業生進路決定状況＞（令和7年3月19日現在）

区分	人数			%	
	男	女	計		
就職	民間（県内）	21	11	32	20.5
	民間（県外）	5	5	10	6.4
	公務員（県内）	0	2	2	1.3
	公務員（県外）	1	2	3	1.9
就職計		27	20	47	30.1
進学	国公立大学	9	10	19	12.2
	私立大学	11	19	30	19.2
	短期大学	4	5	9	5.8
	専修学校等	13	35	48	30.8
進学計		37	69	106	67.9
その他（未内定者含む）		0	3	3	1.9
合計		64	92	156	100.0

※ 就職の民間（県外）には、県外事業所のうち就業場所が県内となる事業所も含まれています。

※ %の数値は小数点第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100.0にならないことがあります。